

平成30年度 乳幼児教育振興特別事業
全幼研ワクワクプロジェクト（岩手） 報告書

「健康な心と体を育てる

～体幹の育ちと足元からの健康づくりの

推進を考える～」

提出日 平成31年1月7日

支部長名 佐藤みき子

- 実施日 平成 30年 12 月 26日 (火)
時 間 13時 30分～ 15 時 30分
- 共 催 盛岡幼児研究会
- 会 場 マリオス 184・185会議室
- 参加者 全幼研岩手支部会員・盛岡幼児研究会
(計 25 名)
- 講 師 所属・職名 全国幼児教育研究協会 理事長
明治学院大学特命教授

名前 福井 直美 氏
- 内 容 (形式は自由ですが、文書による説明あるいは、写真等も交え
記載してください。裏面参照)

○上記の内容を含め、A4版2枚程度の報告書にまとめてください。

○報告書のうち、幾つかをホームページに掲載させていただきます。その支部には、後日、事務局よりご連絡いたしますので、ご対応ください。

<研修会の内容>



子供の体力や運動能力が低下してきている。幼児期運動指針より幼児期は運動機能が急速に発達する時期。自ら楽しく取り組むことでできることが増える等。心情面の育ち・態度の育ちが期待される。

新聞紙等身近にあるものを使って楽しみながら遊んだり、曲に合わせて体のいろいろな部分を動かすことを楽しむ。クラス皆で、同じ動きをしてみることも大事な援助。一人一人の動きの足りない面を把握する。



<参加者の感想>

- ・子供が自ら体を動かしたくなるような環境をつくるのが改めて大事なことが分かった。
- ・足裏が変わってきていることから、子供の足に合った靴を選ぶこと、足を使った遊びを教師が工夫して保育に取り入れていくことが大事だと思った。
- ・大人も（教師も）今からでも、足育をしていきたいと思った。

<まとめ>

- ・足育については初めてお話を聞いた人が多かったようなので、講演の中で実際の子供たちの動きを見せていただいて、大変良かった。
- ・とても良い講演内容でしたが、時期的に忙しく参加できない人が多かったのは残念だった。
- ・初めての企画だったが本部の方に来ていただき、5万円を有効に活用できたのは良かった。